

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和1年12月5日(2019.12.5)

【公開番号】特開2017-83832(P2017-83832A)

【公開日】平成29年5月18日(2017.5.18)

【年通号数】公開・登録公報2017-018

【出願番号】特願2016-207527(P2016-207527)

【国際特許分類】

G 02 F 1/133 (2006.01)

G 09 G 3/36 (2006.01)

G 09 G 3/20 (2006.01)

【F I】

G 02 F 1/133 5 5 0

G 09 G 3/36

G 09 G 3/20 6 2 4 B

G 09 G 3/20 6 2 1 K

G 09 G 3/20 6 9 1 Z

G 02 F 1/133 5 3 0

【手続補正書】

【提出日】令和1年10月23日(2019.10.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

マトリクス上に配置された複数の画素を有し、

前記画素は、第1乃至第3のトランジスタと、第1及び第2の容量素子と、液晶素子と、第1乃至第4の配線と、を有し、

前記第1のトランジスタの第1端子は、前記第1の配線に電気的に接続され、

前記第1のトランジスタの第2端子は、前記第3のトランジスタの第1端子と、前記液晶素子の第1端子と、に電気的に接続され、

前記第1のトランジスタのゲートは、前記第2の配線に電気的に接続され、

前記第2のトランジスタの第1端子は、前記第3の配線に電気的に接続され、

前記第2のトランジスタの第2端子は、前記第3のトランジスタのゲートと、前記第2の容量素子の第1端子と、に電気的に接続され、

前記第2のトランジスタのゲートは、前記第4の配線に電気的に接続され、

前記第3のトランジスタの第2端子は、前記第1の容量素子の第1端子に電気的に接続され、

前記液晶素子の第2端子には、第1の電圧が与えられ、

前記第1の容量素子の第2端子と、前記第2の容量素子の第2端子とには、第2の電圧が与えられ、

前記液晶素子は、コレステリック液晶を用いる表示装置。

【請求項2】

請求項1において、

前記液晶素子への応力の付与により前記コレステリック液晶の反射率が変化する領域と、前記液晶素子への電界の印加により前記応力が加わっても前記コレステリック液晶の反

射率が変化しない領域と、を有する表示装置。

**【請求項 3】**

請求項 1において、

前記液晶素子への応力の付与により前記コレステリック液晶をプレーナ状態に変化する領域と、前記コレステリック液晶への電界の印加により前記応力が加わってもフォーカルコニック状態が維持される領域と、を有する表示装置。

**【請求項 4】**

請求項 2又は 3において、

前記画素は、第 1 の可撓性基板と、第 2 の可撓性基板との間に位置する表示装置。